

2021年コロナ禍の台湾における社会的弱者と 債務動向の観察

発表者

吳宗昇（輔仁大学社会学部副教授）

製作協力

林宸寬・郭立婷（輔仁大学社会学研究所）

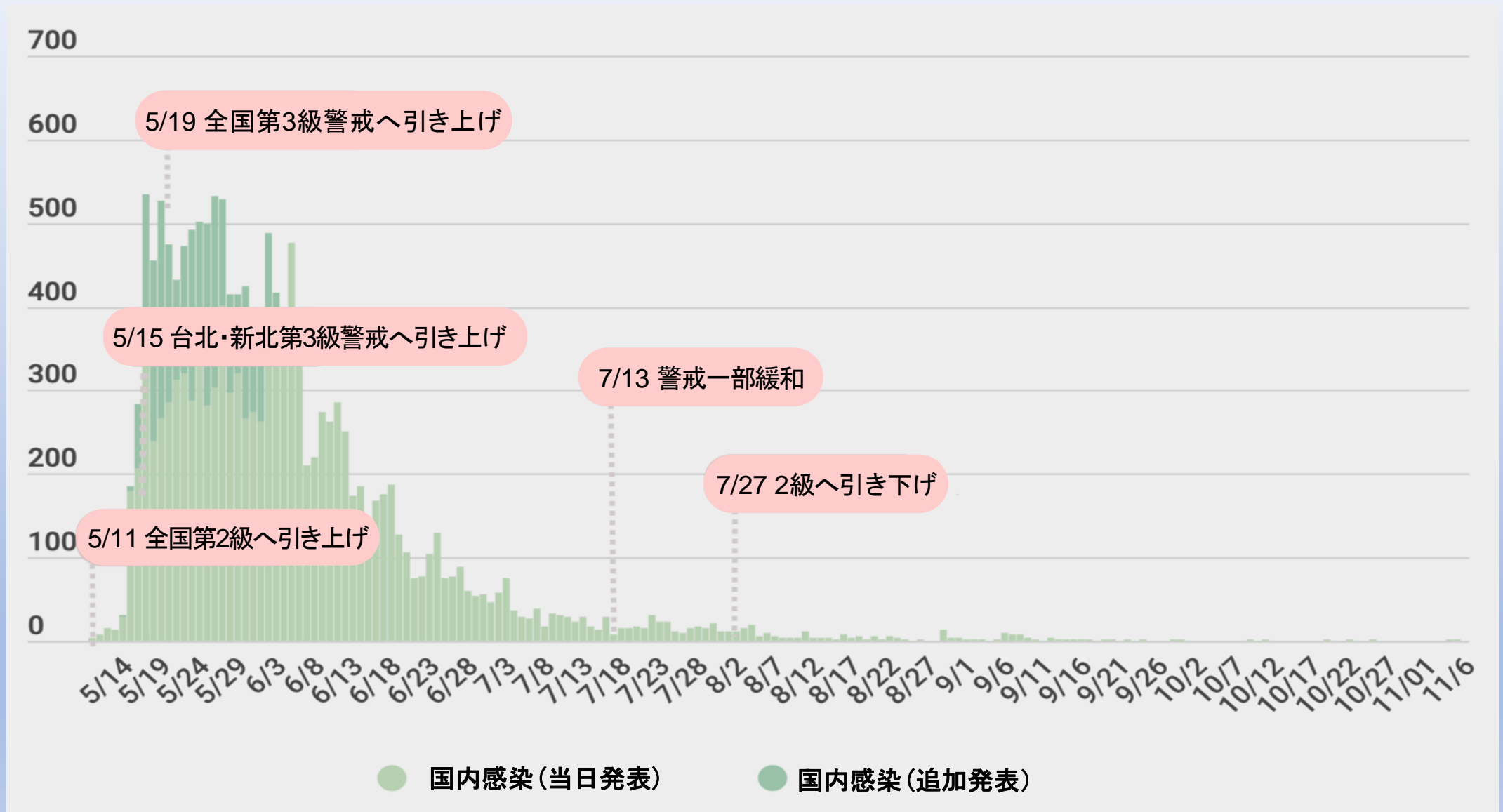
感染爆発

2021年5月13日、コロナウィルスの感染拡大が始まり、1か月で11,501人が感染した。台北地区は最も警戒が必要な地区となり、政府は警戒レベル第2級を発出した。

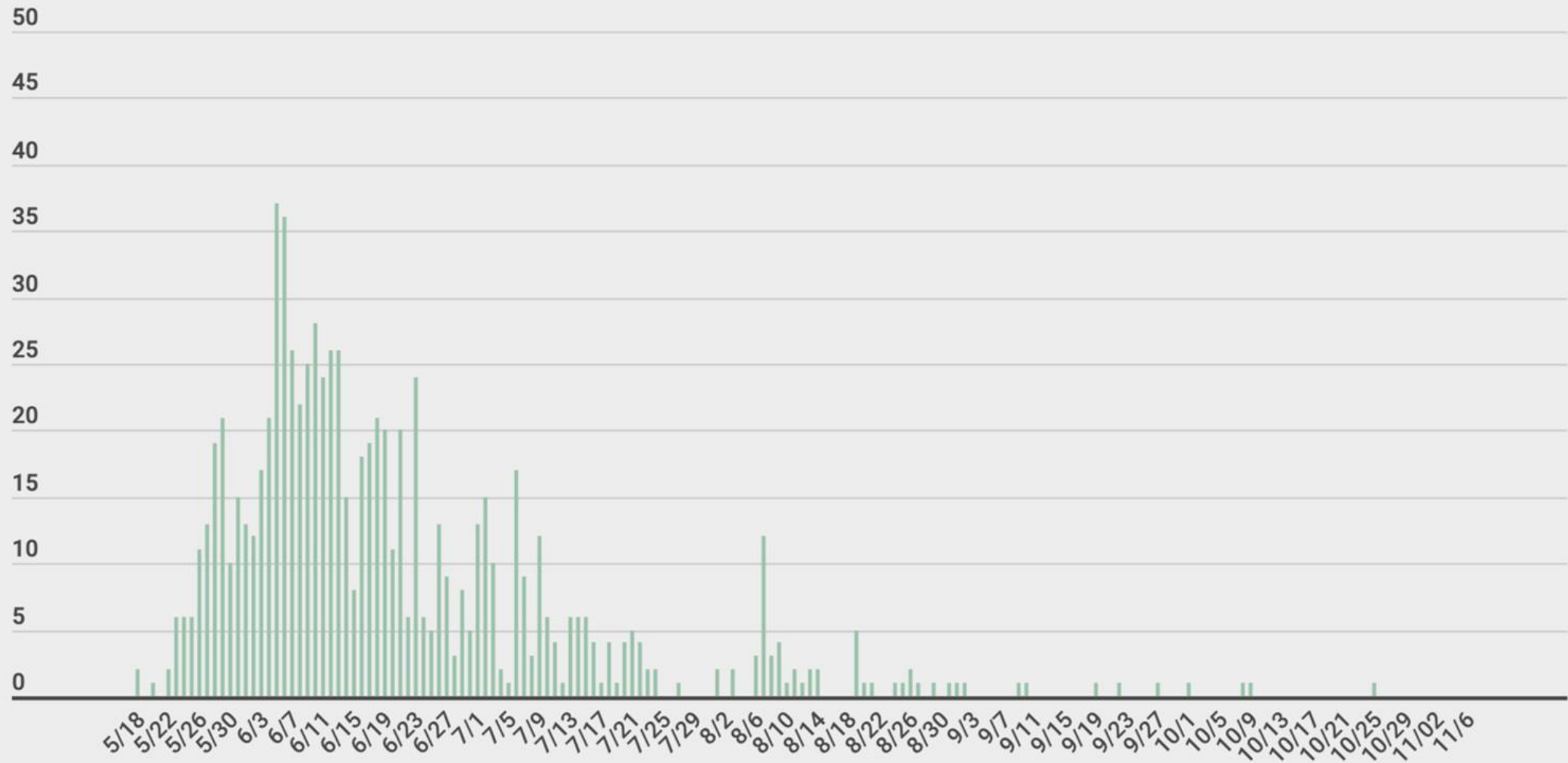
- 店内飲食の禁止
- オンライン授業への変更
- 幼稚園・小中高校・大学の夏期講座の停止
- 公共の場での集会の禁止、外出時のマスク着用義務

7月中旬以降、感染状況は落ち着き、10月31日現在、台湾の感染者は16,436人、死者は847人。1か月の間に、コロナ対策の優等生と呼ばれていたところから転落してしまった。

2021台湾の感染者数の推移



2021 台湾のコロナ死者数グラフ

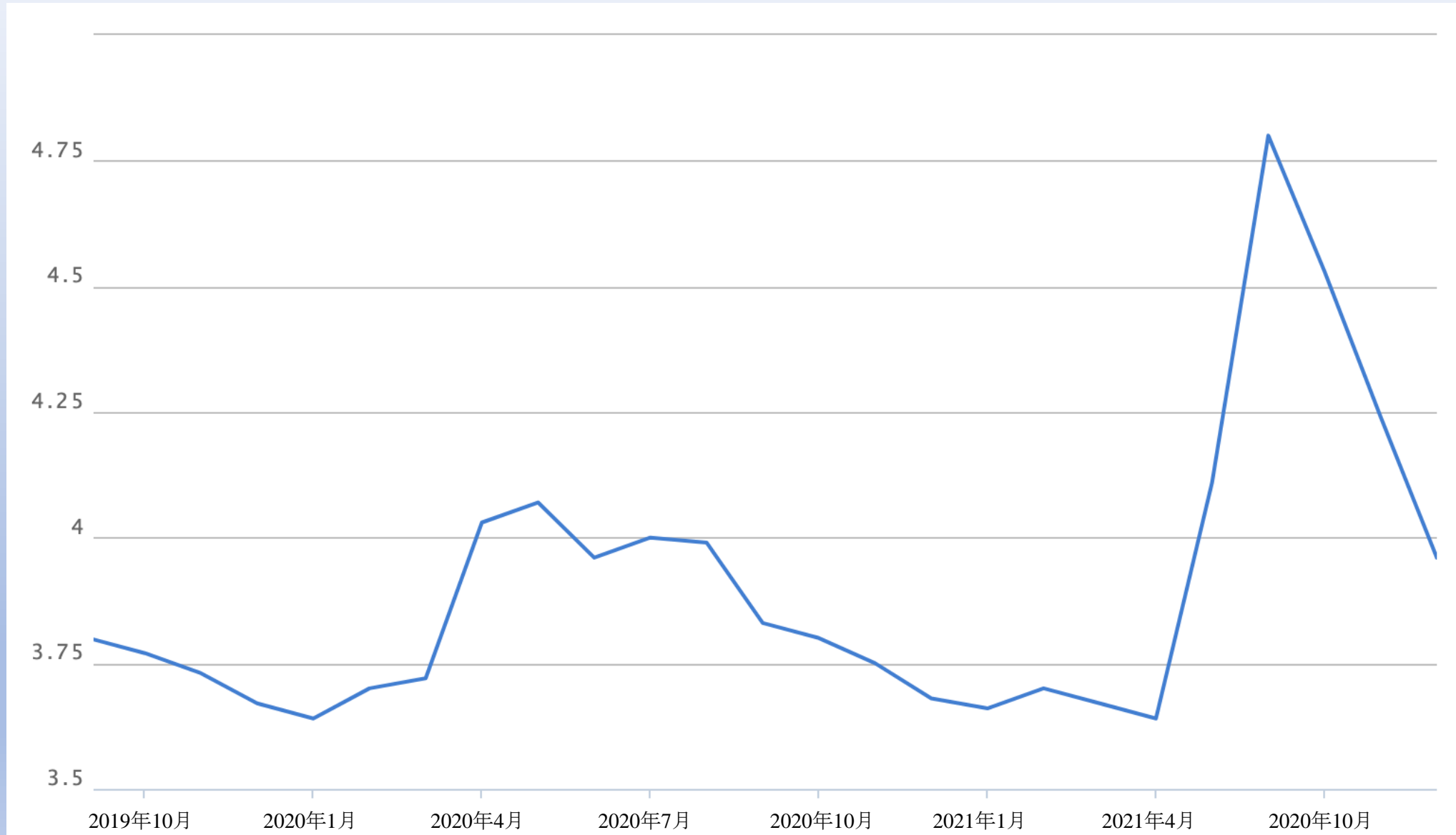


引用：聯合新聞網 https://topic.udn.com/event/COVID19_Taiwan

社会的弱者を取り巻く環境

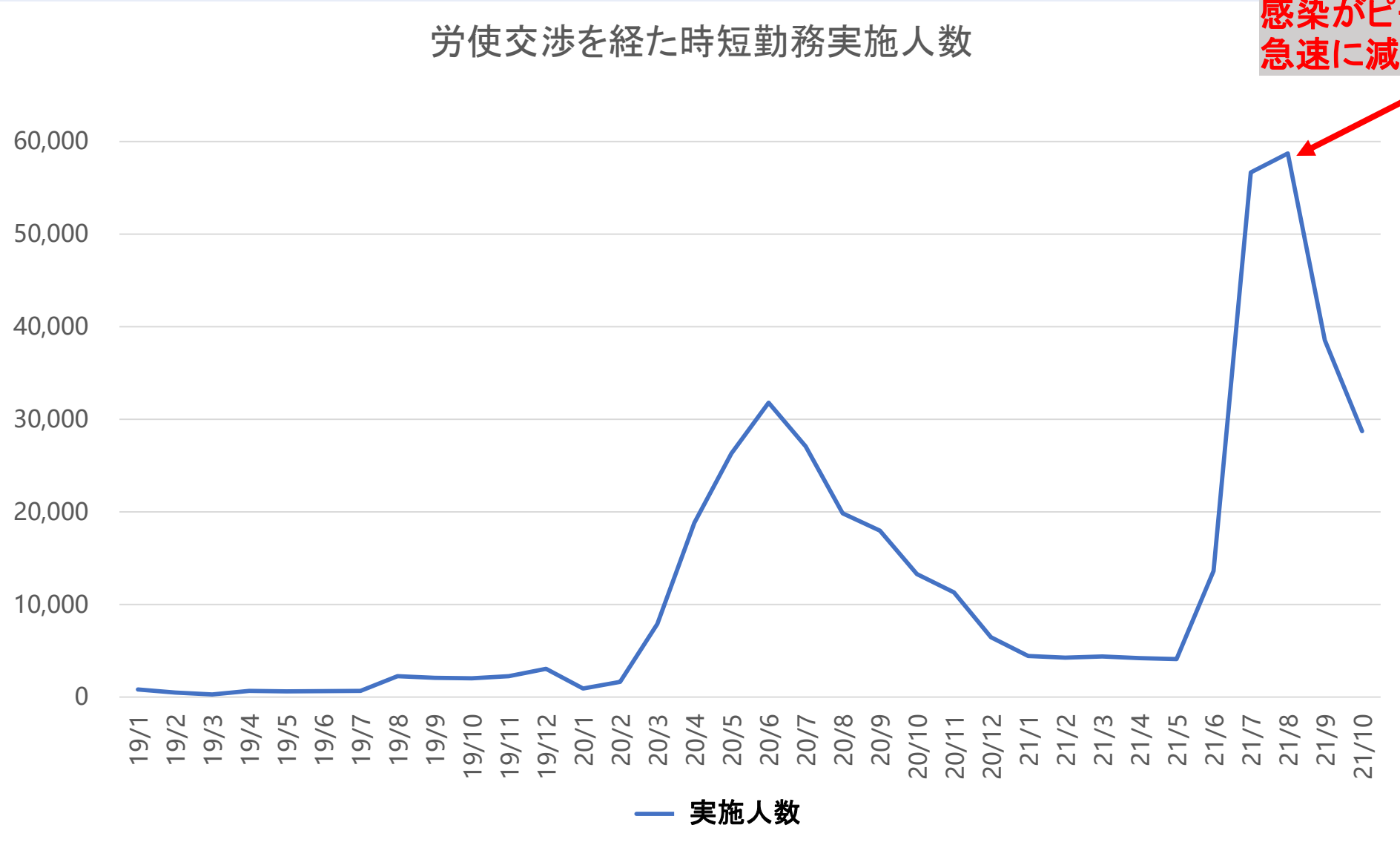
1. **失業率の急激な上昇:**失業率が1か月の間に1%上昇し、約53万人(5・6月の平均失業者数)が影響を受けた。
2. **無給休暇人数:**平均して毎月約4千人だったのが、ひと月6万人近くまで増加した。
3. **隠れた非正規労働者数:**工事現場労働者・一時雇用労働者・パートタイム労働者・清掃員・ジムインストラクター・非正規教員など、多くの非正規労働者が警戒レベル第2級の規定により、レストラン・工事現場・公共施設が閉鎖されたことで、収入を失った。
4. **ホームレス:**公共施設が閉鎖されたため、ホームレスへの食糧支援が滞り、シャワーを提供していた施設も閉鎖された。また、短期アルバイトの収入も全て失った。
5. **一人親世帯:**休校となり、家庭で子供の世話をする必要があったため、多くの一人親世帯の保護者が仕事を辞めなければならなかった。

台灣2020-2021失業率の推移



引用： 中華民國統計資訊網 <https://www.stat.gov.tw/point.asp?index=3>

2019-2021 無給休暇人数推移グラフ



引用：労働部-労働統計查詢網 <https://statfy.mol.gov.tw/index04.aspx>

政府の対策とコントロール

感染拡大初期、不安から食品の買い占めが起こり、医療も崩壊の危機に瀕していた。

1. **迅速な第2級警戒態勢:**公共施設の閉鎖、大量のPCR検査の実施、自宅待機や生活支援資金ローン提供などの措置を実施した。
2. **市民の協力:**市民の自粛により、人出が減少した。萬華地区の感染状況が最も厳しかったが、政府、NPO、地区の代表が迅速に貧困層やホームレスに対する支援を行った。感染拡大の中心だった台北地区の状況は依然として厳しかった。
3. **友好国によるワクチン支援:**日本から6回で420.4万回分のAZワクチン支援があり、米国からも2回で400万回分のモデルナワクチンが届いた。台湾にとって非常にありがたい支援だった。

感染状況は8月末に落ち着いた。

市民による自主ロックダウン、NPOの協力



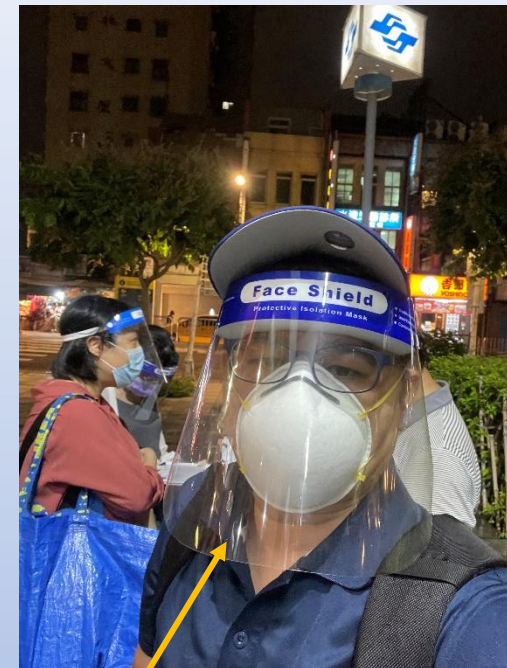
資料來源 : <https://health.udn.com/health/story/120952/5477658>

台北101付近の写真。
5・6月の厳しい感染状況のなか、市民が通勤以外の行動を自粛したので、景勝地や百貨店は閑散としていた。台湾はロックダウン措置を取らなかった。



<https://theinitium.com/article/20210527-taiwan-wanhua-ten-days/>

萬華地区の貧困層やホームレスなど、政府の手が回らない所は地元のNPOが迅速に行動し、食料品やマスクなどの非常セットを集め、必要とする人のもとへ届けた。

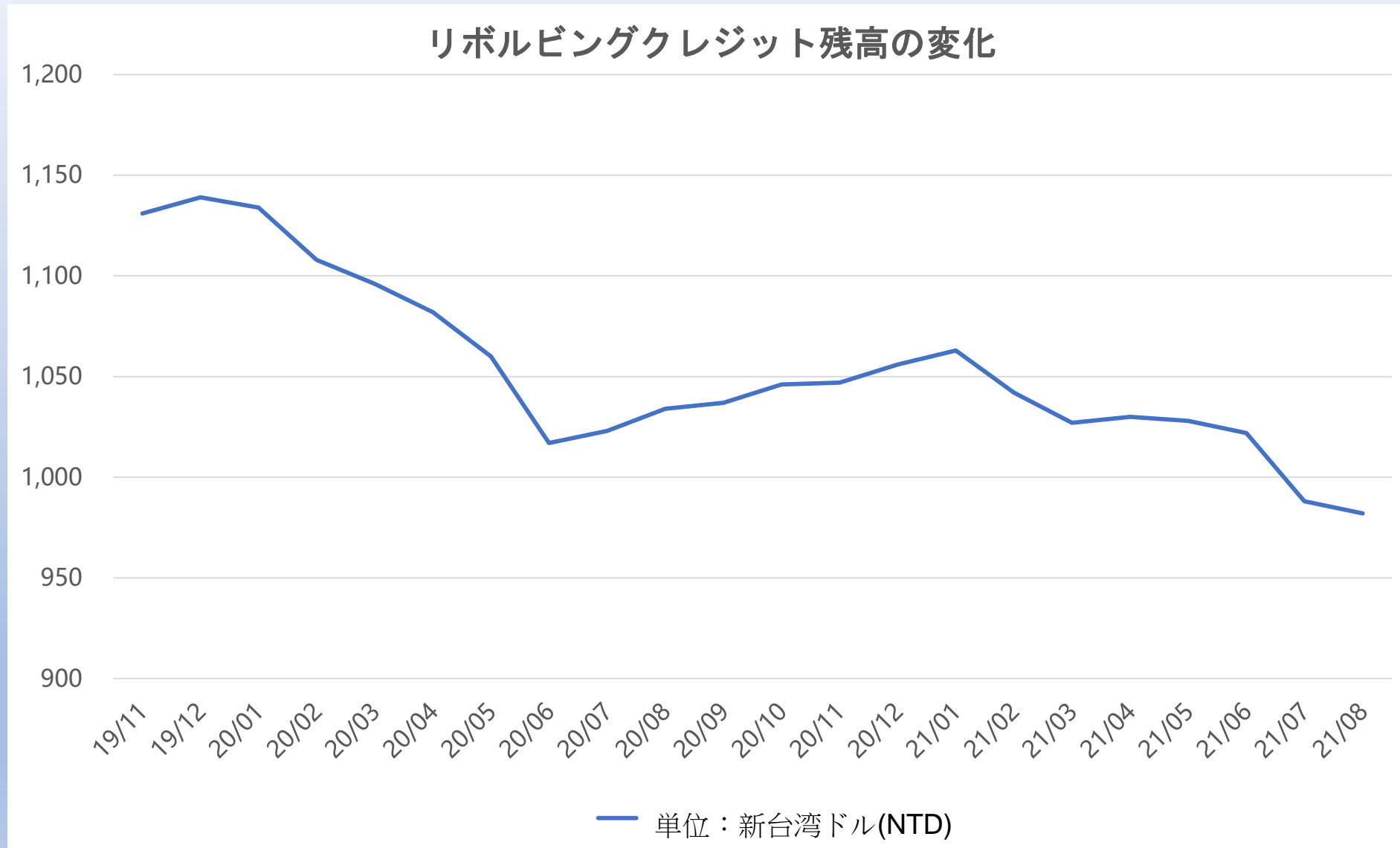


これは私です。7月上旬、萬華と台北駅のホームレスを対象に感染状況の調査とワクチン接種の勧告を行った。

債務動向の観察

1. 異様な数字:失業率・無給休暇・家計債務の増加。しかし、リボルビング残高は減少している。
2. 一時雇用労働者や非正規労働者の人口は、借入残高や国の統計に反映されない。
3. 政府の大規模な支援ローンが、一般の消費者ローンに取って代わったのでは？ 国に対する債務にならないのか？ こういう事態が起きた場合の処理方法は？
4. 2005年に台湾で発生したような、貧困層が債務を増やし続け、大規模な債務不履行が発生するという事態が半年或いは数年後に発生するのではないか？
5. 過度の金融緩和政策、例えば、生活支援ローンや低利率が台湾の流動資本を増やすことにより、不動産が高値を維持し、富裕層に富が集まり、貧困層は更に貧困に悩まされるのではないか？ これをウォッチし続ける必要がある。

台湾2020-2021 リボルビングクレジット残高の変化



台湾2018-2021家計債務の変化

2016 87.5% アリアンツグループ 《ワールド・ウェルス・レポート》

2017 89.4% アリアンツグループ 《ワールド・ウェルス・レポート》

86.1% 台湾中央銀行

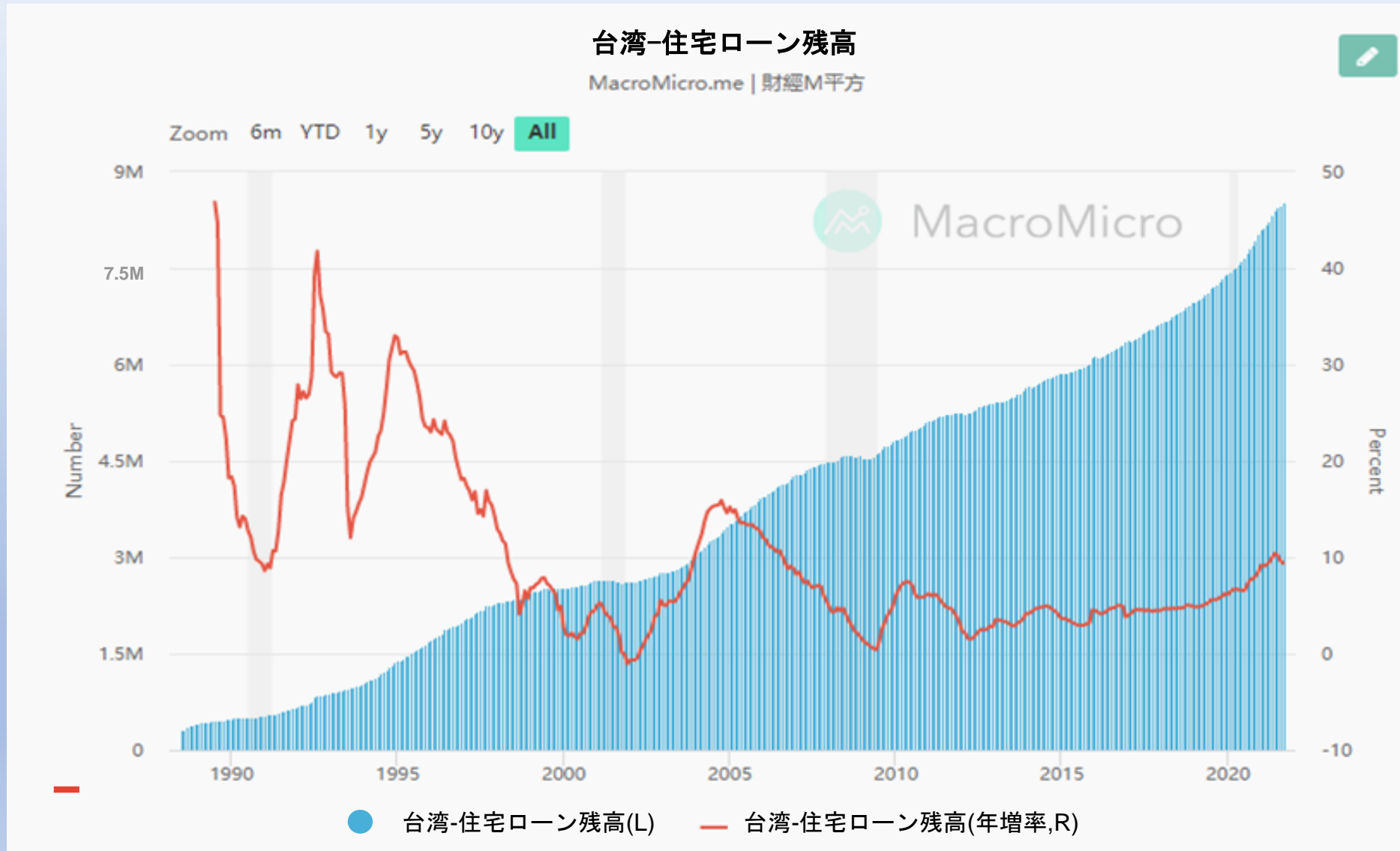
2019 92.6% アリアンツグループ 《ワールド・ウェルス・レポート》

86.7% 台湾中央銀行

2020 91.8% アリアンツグループ 《ワールド・ウェルス・レポート》

主な家計債務は住宅ローン！

主な家計債務:不動産ローンの毎年の増加



結論:見過ごせないリスク

1. コロナ禍の政府による大型の生活支援ローンによって、**政府が主要債権者となった。**
2. 家計債務が増加しているが、その中には大量の住宅ローンが隠れている。
3. 資産家が借入金融によって利益を得る:インフレは、資金のある人は借入れをして部屋を購入することで、インフレに対抗でき、住宅価格が上がれば利益を得ることができるという状況を生み出した。
4. 貧困層の実質賃金の減少:インフレにより、物価が上昇し、貧困層の実質購買力が低下した。
5. コロナ禍において発生した、細かな金融体系から貧富の差が生まれ、貧困の解消が更に困難となる可能性がある。